



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

活動報告書

久米川なかよし保育園

ふたば組(1歳児)

1.活動のテーマ 『光と影』

2.問いを考える

『いろいろばす』の絵本中に影が登場すると「なにこれ？」と疑問を口にしていたり自分自身の影を見つけて自然と影遊びをしていたこと等・・・意識なく影に対して興味を持ったり関わっていた姿から、“影って何だろう？”という問いについて考える。

3.環境をデザインする

意識なく関わっていた“影”に意識を向けて、遊びの中で関わることのできる環境作りを行う。子どもたちの興味関心や探求心が広がるよう、影に必要な不可欠な“光”にも注目し、準備をしていく。

活動のために準備した素材や道具

- ・懐中電灯
- ・プロジェクター
- ・カラーセロハン
- ・厚紙
- ・透けるクリア素材の玩具
- ・変形するソフト玩具

4.探究活動の実践

○実際の様子

活動1:シャボン玉と影遊び

○活動内容

- ・シャボン玉が日光を反射してきらきらとしている様子を楽しむ。
- ・シャボン玉の反射に興味を持って光遊びに触れる。
- ・シャボン玉遊びを通して、影にも興味を持ち、影遊びを楽しむ。

○子どもたちの様子

- ・シャボン玉の反射してきらめく様子やふわふわと飛んでいる様子に興味を持って見たり、追いかけていたりしていた。
- ・玩具の丸い影や自身の影にも気が付いて興味を持っている言葉が聞こえてきた。



「きらきら！」
「あっち〜！」

「きらきらない！」

「まるまる、いっぱい」
「〇〇(名前)！ここ！」

活動2:お部屋で光玩具の制作

○活動内容

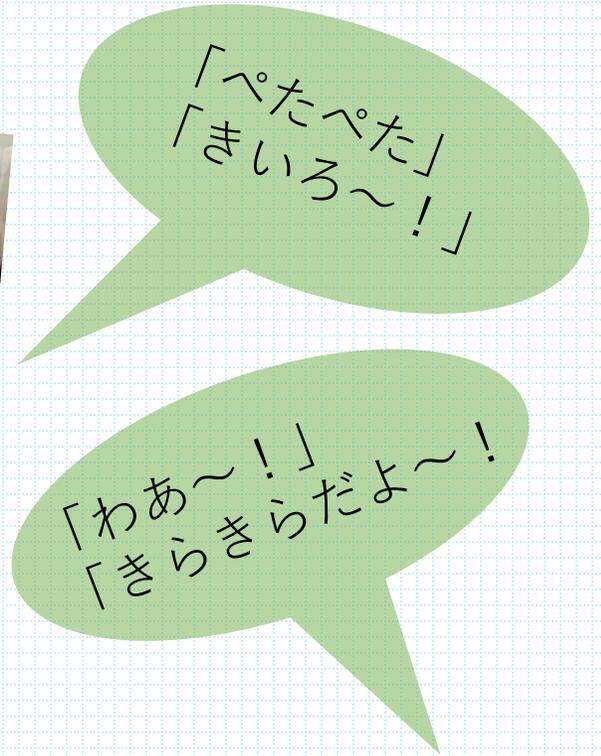
- ・ カラーセロハンを使って光を通す素材に触れる。
- ・ お気に入りの作品を作って楽しむ。
- ・ 光に透ける様子に興味を持って楽しむ。

○子どもたちの様子

- ・ 好きな色を選んで作ることを楽しみ、お気に入りの作品となっていた。
- ・ 光に透けている様子を見て、それぞれの子どもたちなりの言葉で光を通してしている様子を表現していた。

- ・ クリスマスツリー、自転車の光、まぶしい、影寒い

○実際の様子



活動3:プロジェクターで色の影遊び

○活動内容

- ・シルエットクイズを楽しむ。
- ・自分や他児の影が動く様子を見て、身体を動かしながら遊ぶ。
- ・クリア玩具を使って色付きの影を作ったり、懐中電灯で影をうつして遊ぶ。

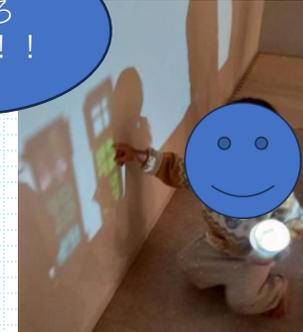
○子どもたちの様子

- ・透けるもの透けないものを自分の手で実際にもち照らしていた。「できない」「なんで?」と不思議に思うのか、何度も繰り返し懐中電灯との前に立っていた。

○実際の様子



きいろ
あった!!



これも
できるかな?

活動4:戸外で影遊び

○活動内容

・戸外でカラーセロハンを透かし
部屋で見る色と戸外の見る色の違いを
観察し遊ぶ。

・どうすればみえるのかをセロハンを
もちながら子どもたちと考えてみる。

○子どもたちの様子

・「キラキラなった」と光を触ろうと
したり、透けるも場所を探しいろいろな場所で
透けさせていた。

・2つのカラーセロハンを重ね透けさせて色の
変化を見ていた。

・自分の影の中では色が出ないので
不思議そうに光(太陽)の方に手を伸ばしていた。

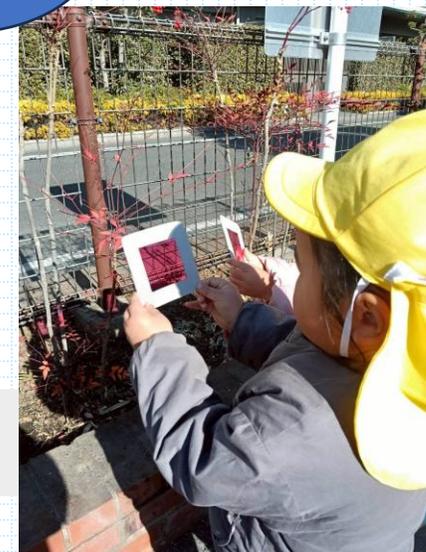
○実際の様子



あれ？
ない??



つかまえた!!



5.振り返り

去年と同じように光と影について、子どもたちと知りプラスで製作にも取り組めて活動としては良かった。まだまだ子どもの声を拾いきるのは難しいが引き続き遊びながら取り組んでいきたい。

戸外遊びを通して影とはという子どもたちの疑問をカラーセロハンやシャボン玉を通して伝えていった。部屋でもマグネットブロックや変形ブロックで影のできるものを伝えていき遊びからすくわくを深めてい方のではないかと思った。

自分たちの手に持って行動するものは積極的に参加してくれていた。シャボン玉はふけること難しい子の差もあったので振るタイプを用意しておいてよかった。

製作ではちぎることや貼ることに苦戦していた。自分たちで作ったものに光が反射してカラーセロハンの色が輝いているのを発見した時は「もっとキラキラしたい」と光に興味をもっているように感じた。

シルエットクイズや懐中電灯では自分たちで光や影を照らしている姿が印象的だった。友だち同士でも声をかけあい、遠くから照らすのと近くで照らす違いを離していた。